

資料1

# 資源循環型施設整備事業に係る 環境影響評価方法書について

上田地域広域連合

上田市、東御市、青木村、長和町

令和4年6月 技術委員会(1回目)

- 1 事業計画の概要
- 2 環境影響評価項目の選定
- 3 調査、予測及び評価の手法
- 4 手続き状況

# 1 事業計画の概要

# 事業の名称及び事業者

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

事業の名称	上田地域広域連合 資源循環型施設整備事業
事業の種類	廃棄物処理施設の建設 ごみ焼却施設
事業主体	上田地域広域連合

【参考:上田地域広域連合】



ごみ処理事業については、坂城町を除く  
2市1町1村で実施

人 口:193,898人  
世帯数:79,427世帯  
面 積:90,537m<sup>2</sup>

※坂城町を除く  
※人口は令和2年10月1日現在

# 事業の目的

事業計画の概要

環境影響評価項目の選定

調査・予測及び評価の手法

手続き状況

方法書 p.1-2



**現状の課題**

- ・施設の老朽化
- ・維持管理費の増大



**3クリーンセンターを廃止**

↓

**統合クリーンセンター  
(資源循環型施設)**

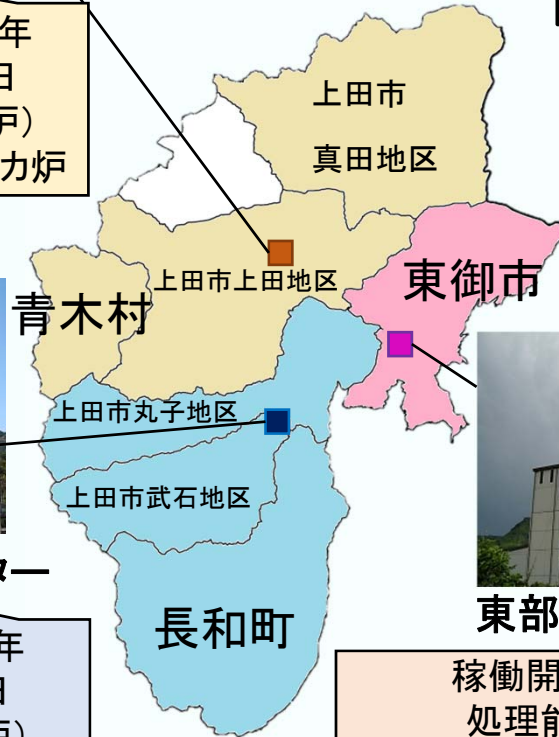
上田クリーンセンター

稼働開始: 昭和61年  
処理能力: 200t/日  
(100t/24時間 × 2炉)  
全連続燃焼式ストーカ炉



丸子クリーンセンター

稼働開始: 平成4年  
処理能力: 40t/日  
(20t/16時間 × 2炉)  
准連続燃焼式ストーカ炉



東部クリーンセンター

稼働開始: 平成5年  
処理能力: 30t/日  
(15t/8時間 × 2炉)  
機械化バッチ燃焼式ストーカ炉

広域化



# 建設候補地選定の取組状況

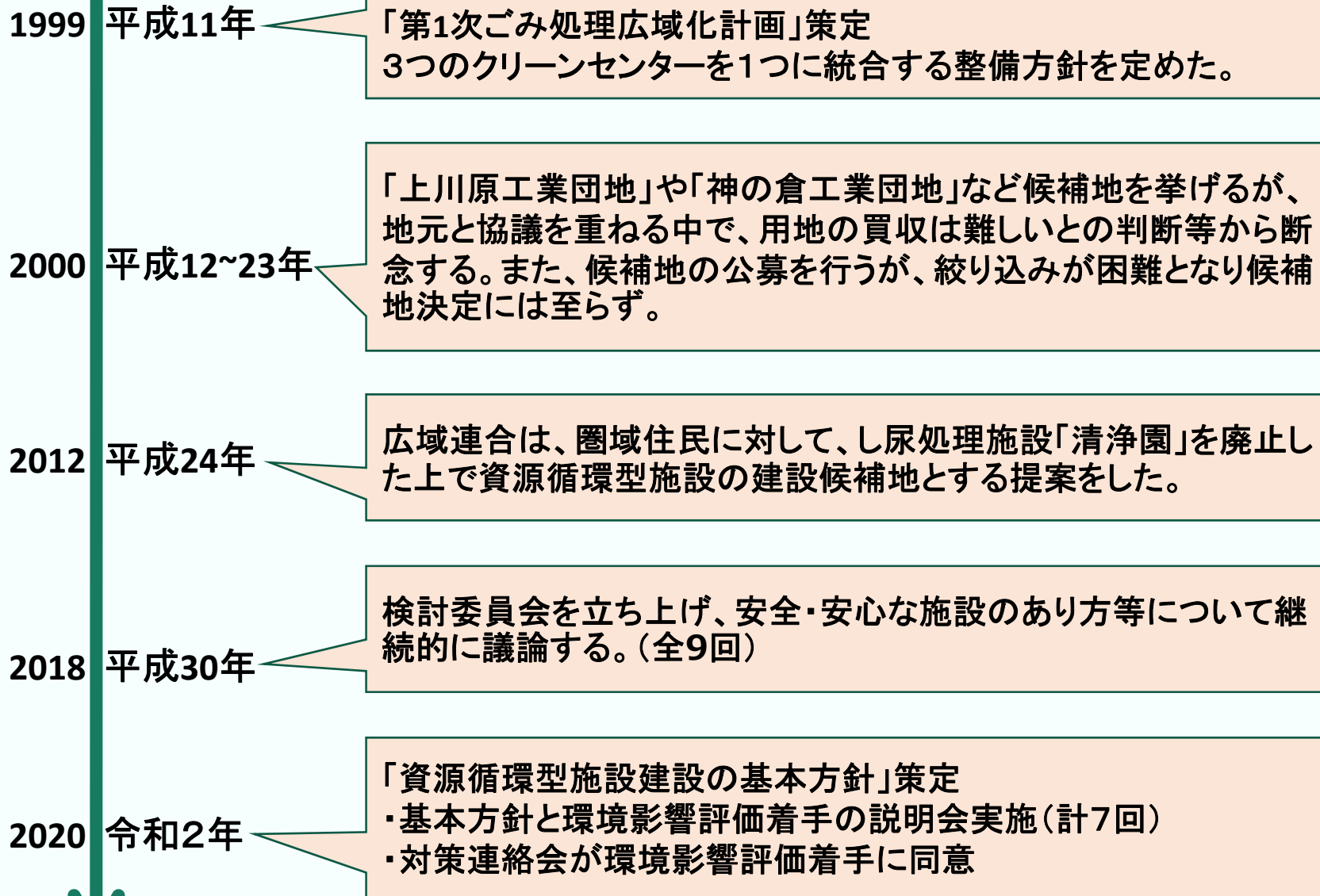
事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.1-3  
~ 1-4



# 対象事業実施区域の位置

## 事業計画の概要

項目	概要
位置	上田市常磐城2320ほか (し尿処理施設「清浄園」用地)
面積	約2ha

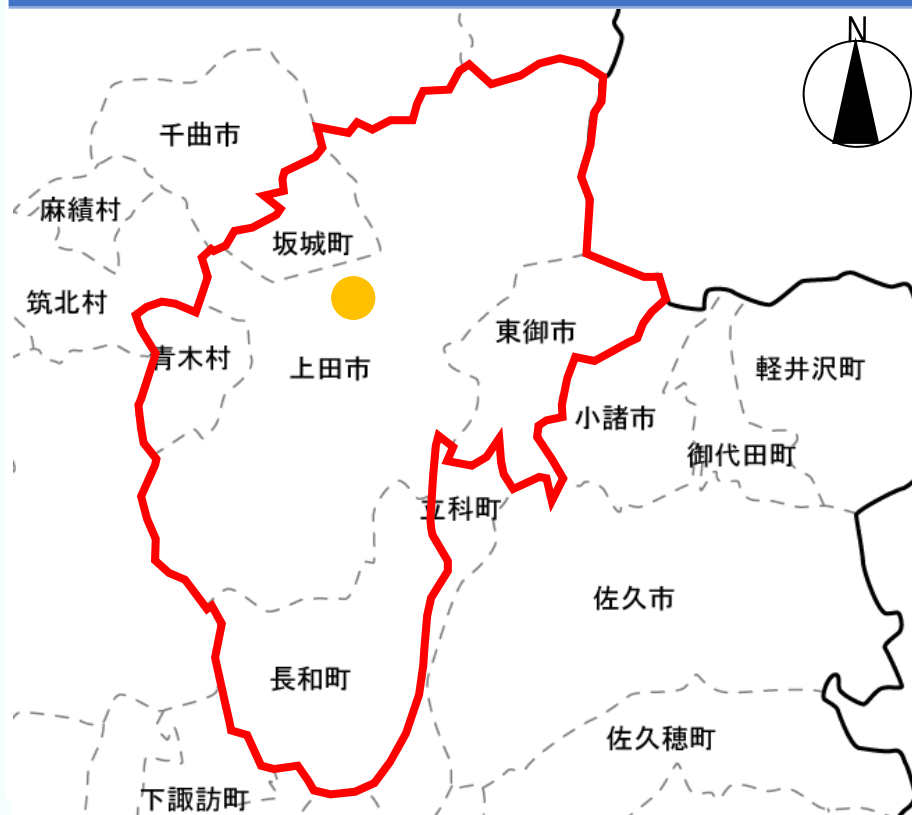
## 環境影響評価項目の選定

## 調査・予測及び評価の手法

## 手続き状況

方法書  
p.1-8  
~ 1-10

## 位置図(構成市町村)

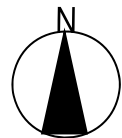


## 詳細図



## 凡例

対象事業実施区域



# 予備調査範囲

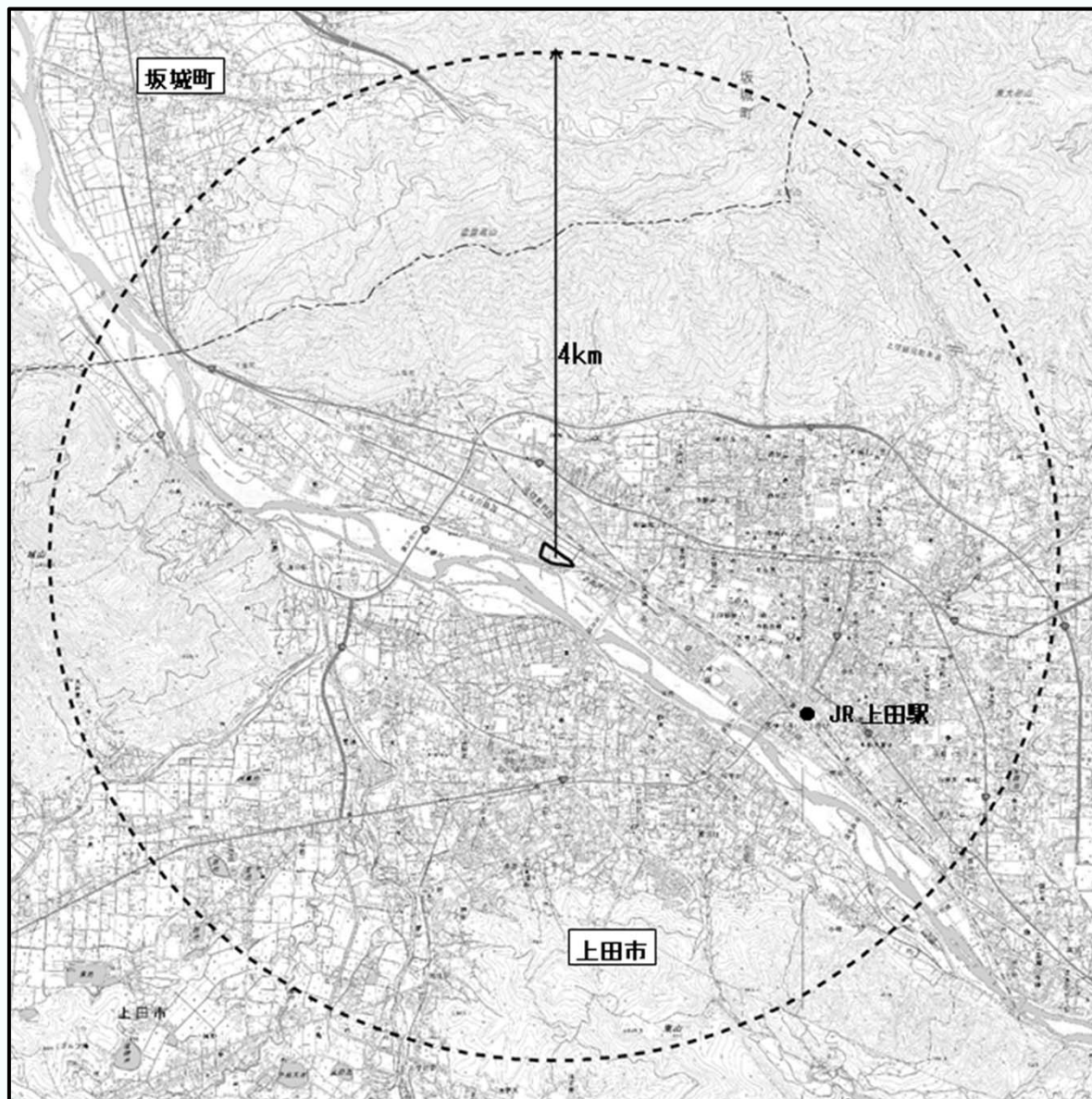
事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.1-8  
~ 1-9





# 施設整備基本方針

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

- 1 環境への負荷を低減し、安全で安定した環境にやさしい施設
- 2 発生するエネルギーを回収し、資源を循環利用する施設
- 3 周辺の自然環境との調和を図り、環境教育の拠点となる施設
- 4 施設建設地の基盤整備と地域振興を図り、快適な生活環境を創造する
- 5 災害時の廃棄物処理を迅速に行うとともに、防災拠点としての機能を持つ施設

# 施設計画

## 事業計画 の概要

## 環境影響 評価項目 の選定

## 調査・予 測及び評 価の手法

## 手続き 状況

項目	計画諸元
焼却対象物	・可燃ごみおよび災害廃棄物
焼却処理能力	・144 t/日
処理方式	・ストーカ式焼却炉(24時間連続運転)
余熱有効利用	・ごみ減量化に可能な限り取り組むことを前提に、 焼却によって生じる熱エネルギーを有効に活用
炉構成	・2炉構成(72 t/日 × 2炉)
配慮書で比較検討した内容の検討結果	
比較検討内容	①煙突高さ:59m、80m ②造成高さ:1.0m、5.0m
①煙突高さ	59m
②造成高さ	基本計画策定時に検討

# 公害防止基準

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

周辺環境への影響を可能な限り低減するため、法令遵守はもとより、より環境に配慮し、公害防止のための自主基準値を設定します。

項目	単位	自主基準値	計画施設に係る 法規制値 (許容限度)
ばいじん	g/Nm <sup>3</sup>	0.01	0.08
硫黄酸化物(SO <sub>x</sub> )	ppm	30	(約4,000)
窒素酸化物(NO <sub>x</sub> )	ppm	50	250
塩化水素(HCl)	ppm	30	430
ダイオキシン類	ng- TEQ/Nm <sup>3</sup>	0.1	1
水銀	μg/Nm <sup>3</sup>	30	30

注) 排出ガス濃度は酸素濃度12%換算値

# 搬出入ルート

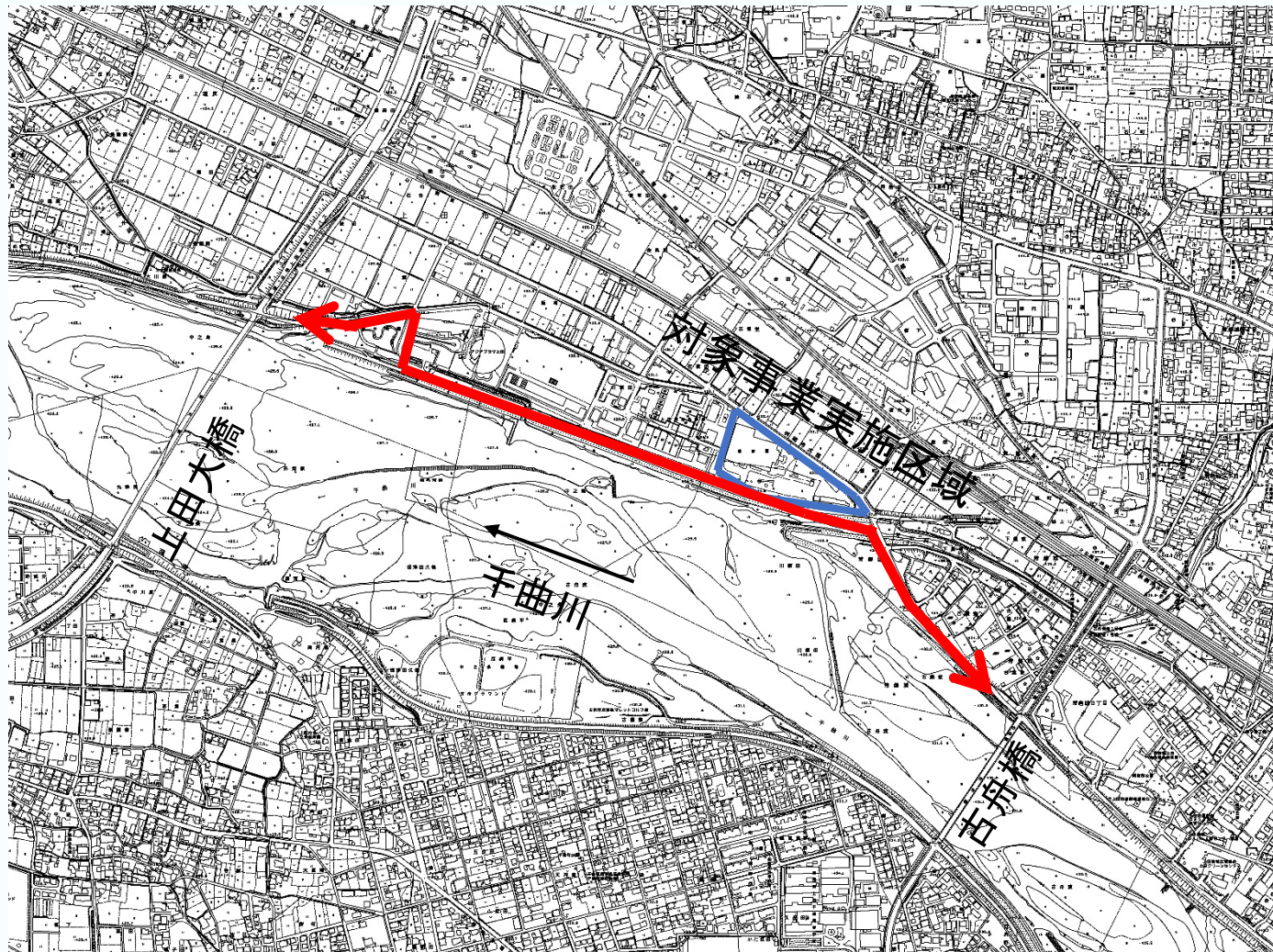
事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

パッカー車などの搬出入については堤防道路を利用します。



# 浸水対策(案)

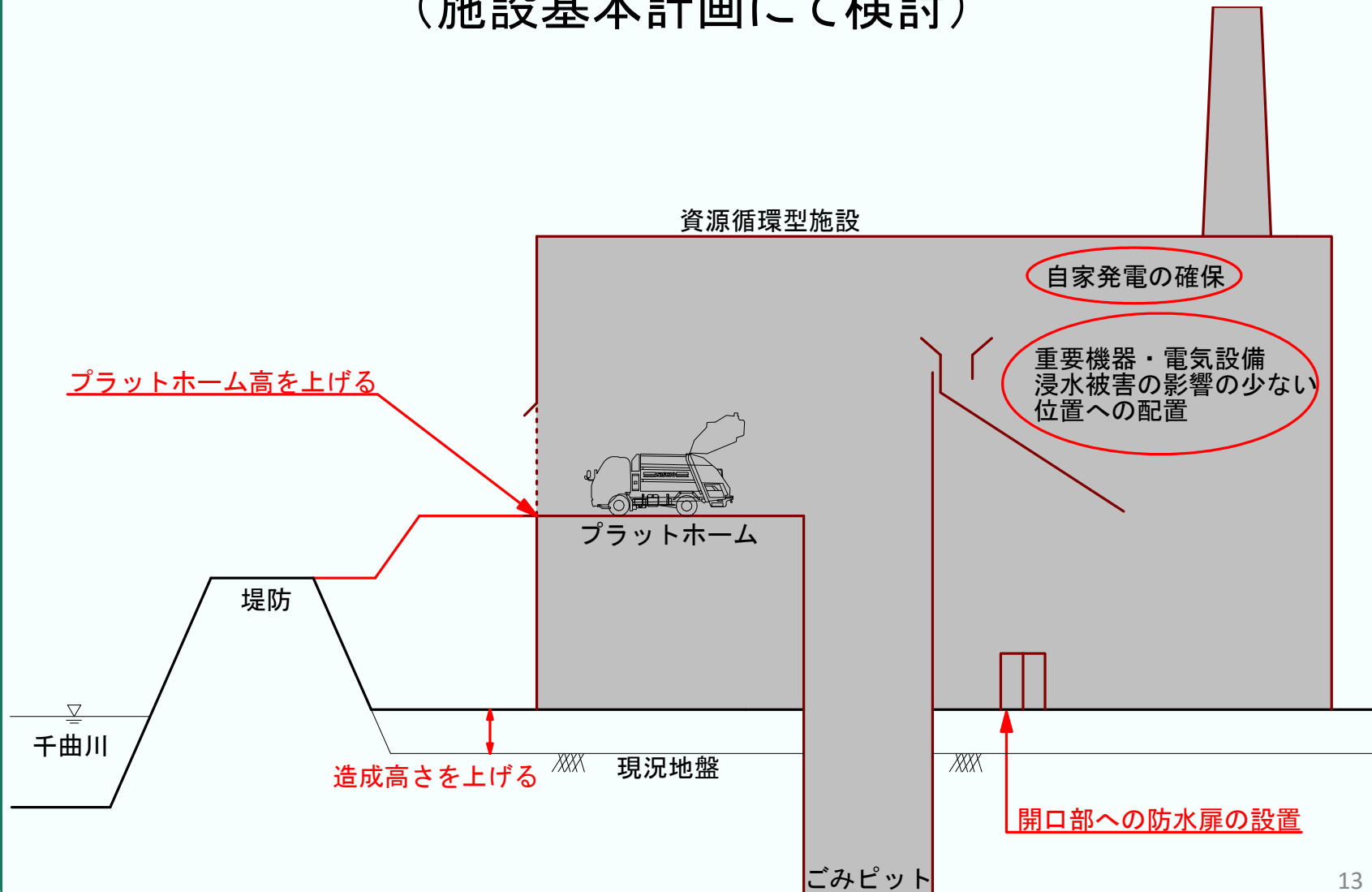
(施設基本計画にて検討)

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況



## 2 環境影響評価項目の 選定

# 選定項目

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

影響 要因	環境影響評価項目																			
	大気質	騒音	振動	低周波音	悪臭	水質	水象	土壌汚染	地盤沈下	地形・地質	植物	動物	生態系	景観	触れ合い活動の場	文化財	廃棄物等	温室効果ガス等	日照障害	電波障害
工事中	○	○	○			△	△	△	△	△	○	○	○		△		○			
供用時	◎	○	○	△	◎		△	○	△		○	○	○	○	△		○	○	○	○

- 注) ◎ :重点化項目(調査、予測及び評価を詳細に行う項目)  
 ○ :標準項目(調査、予測及び評価を標準的に行う項目)  
 △ :簡略化項目(調査、予測及び評価を簡略化して行う項目)  
 無記入:非選定項目(調査、予測及び評価を行わない項目)

## 3 調査・予測及び評価の手法



# 一般環境大気質

事業計画  
の概要

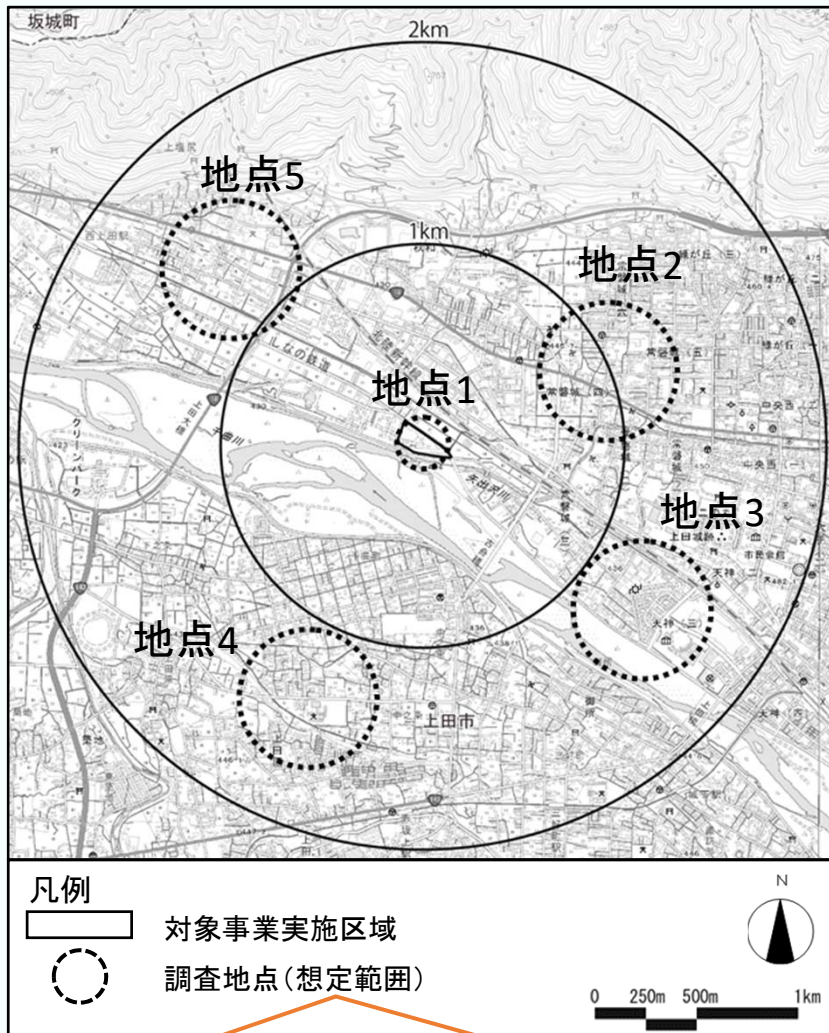
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-24  
~ 3-27

## 調査地点



## 調査内容

【対象事業実施区域内: 1地点】(地点1)

4季各7日間(降下ばいじんは30日間)  
 二酸化硫黄、二酸化窒素  
 浮遊粒子状物質  
 微小粒子状物質(PM<sub>2.5</sub>)  
 有害物質(水銀、塩化水素、ダイオキシン類)  
 降下ばいじん量

【周辺: 4地点】(地点2~地点5)

4季各7日間(降下ばいじんは30日間)  
 二酸化硫黄、二酸化窒素  
 浮遊粒子状物質  
 有害物質(水銀、塩化水素、ダイオキシン類)  
 降下ばいじん量



地域の風上、風下や住宅地の分布等を考慮して選定

# 地上気象・上層気象

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

## 調査地点

地域を代表する気象を把握

対象事業実施区域内の1地点

## 調査内容

煙突排ガスは上空に排出されるため、上空の風向風速等も確認

### 【地上気象】

1年間連続 : 風向・風速、気温、湿度  
日射量、放射収支量

### 【上層気象】

4季各5日間 : 風向・風速、気温



# 19

## 騒音・振動、低周波音（一般的な生活環境）

事業計画  
の概要

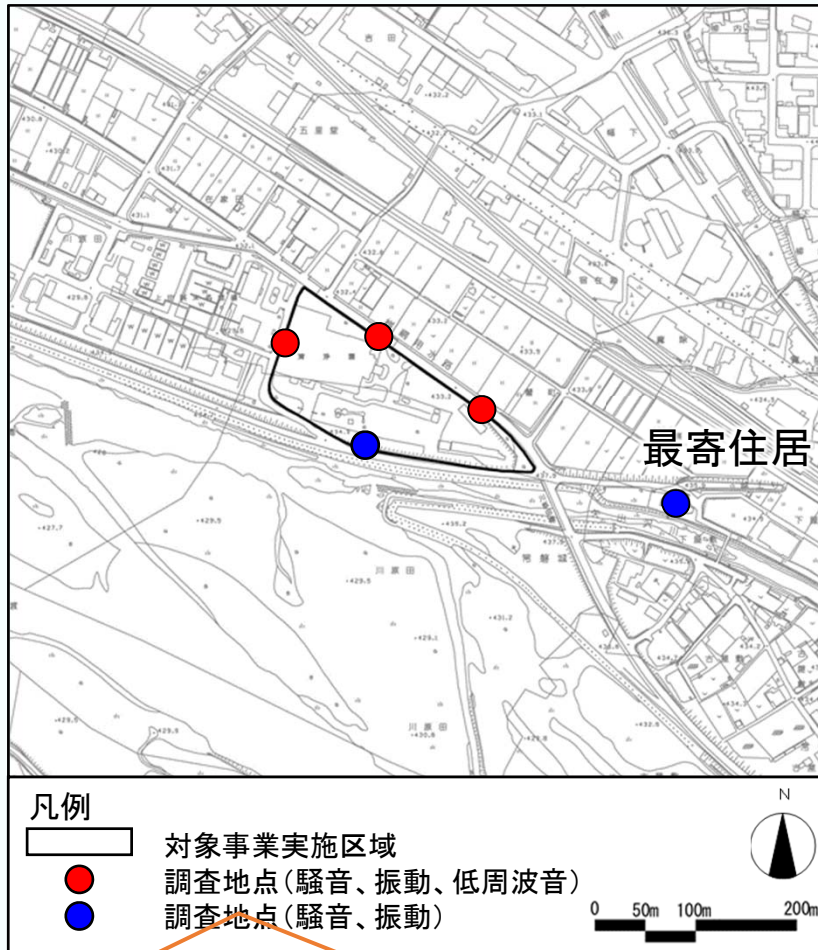
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-31  
～ 3-38

### 調査地点



対象事業実施区域周辺の状況を把握

### 調査内容

【環境騒音・振動：5地点】（赤、青の地点）

2回各1日（平日、休日）

: 環境騒音  
環境振動

【低周波音：3地点】（赤の地点）

1回1日（平日）

: 低周波音



# 大気質、騒音・振動(車両の影響)

事業計画の概要

環境影響評価項目の選定

調査・予測及び評価の手法

手続き状況

## 調査地点



凡例

- 対象事業実施区域
- 調査地点(想定範囲)

0 250m 500m 1km

## 調査内容

【道路沿道大気質:2地点】(地点A、B)

2季各7日間(夏季、冬季)

- : 二酸化窒素
- 浮遊粒子状物質
- ベンゼン

【道路交通騒音・振動:2地点】(地点A、B)

2回各昼間(平日、休日)

- : 道路交通騒音
- 道路交通振動

※あわせて交通量調査も実施



対象事業実施区域へ車両が集まってくる場所で把握

# 悪臭

事業計画  
の概要

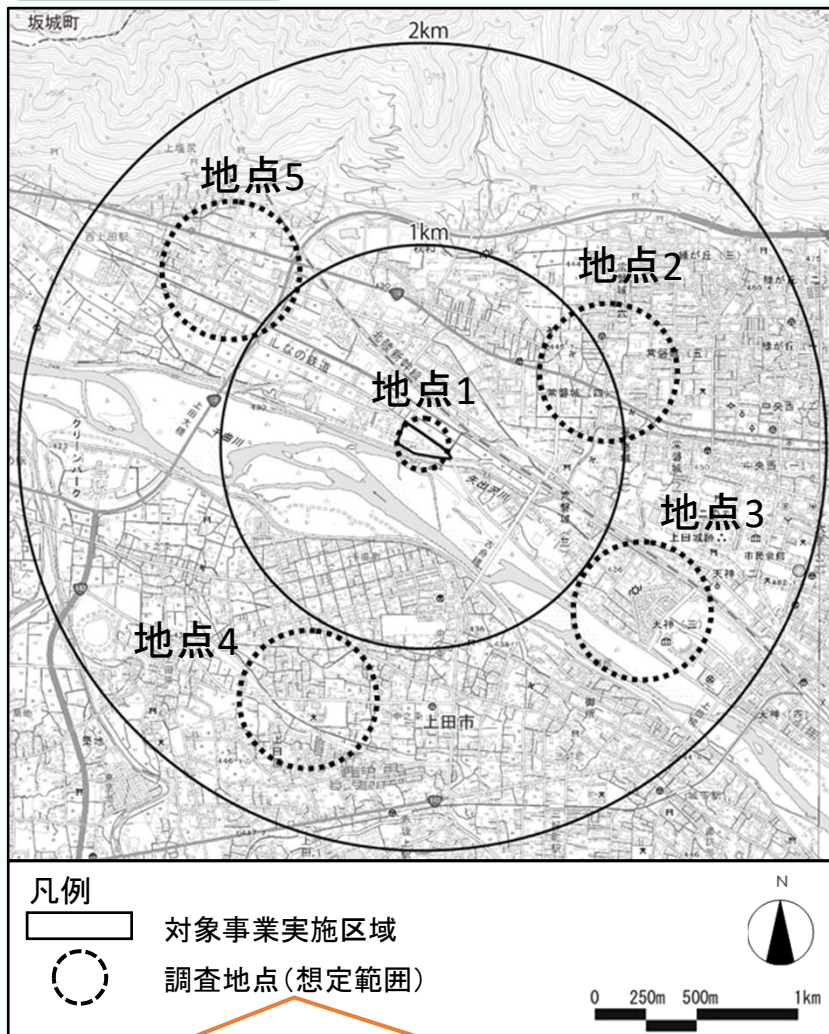
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-39  
~ 3-41

## 調査地点



周辺4地点は一般環境大気質と同じ地点を設定

## 調査内容

【特定悪臭物質・臭気指数:敷地境界2地点】  
(地点1の風上と風下2箇所)

1回(夏季):特定悪臭物質(22物質)  
臭気指数

【臭気指数:周辺4地点】(地点2~地点5)

1回(夏季):臭気指数



◀ 特定悪臭物質調査  
(法律で定められ  
た22の原因物質)

臭気指数調査 ▶  
(臭いの程度)



事業計画  
の概要環境影響  
評価項目  
の選定調査・予  
測及び評  
価の手法手続き  
状況方法書  
p.3-42  
～ 3-44

## 調査地点



既存水路合流箇所の上流側と下流側で設定

## 調査内容

【水質：2地点】(地点a、地点b)

3回(夏季、冬季、降雨時)

:一般観測項目(水温等)  
水素イオン濃度(pH)  
浮遊物質  
濁度  
流量

【土質：1地点】(対象事業実施区域内)

1回:現地の土の沈殿しやすさ



水質調査 ▲

# 水象(地下水位)、地盤沈下

事業計画  
の概要

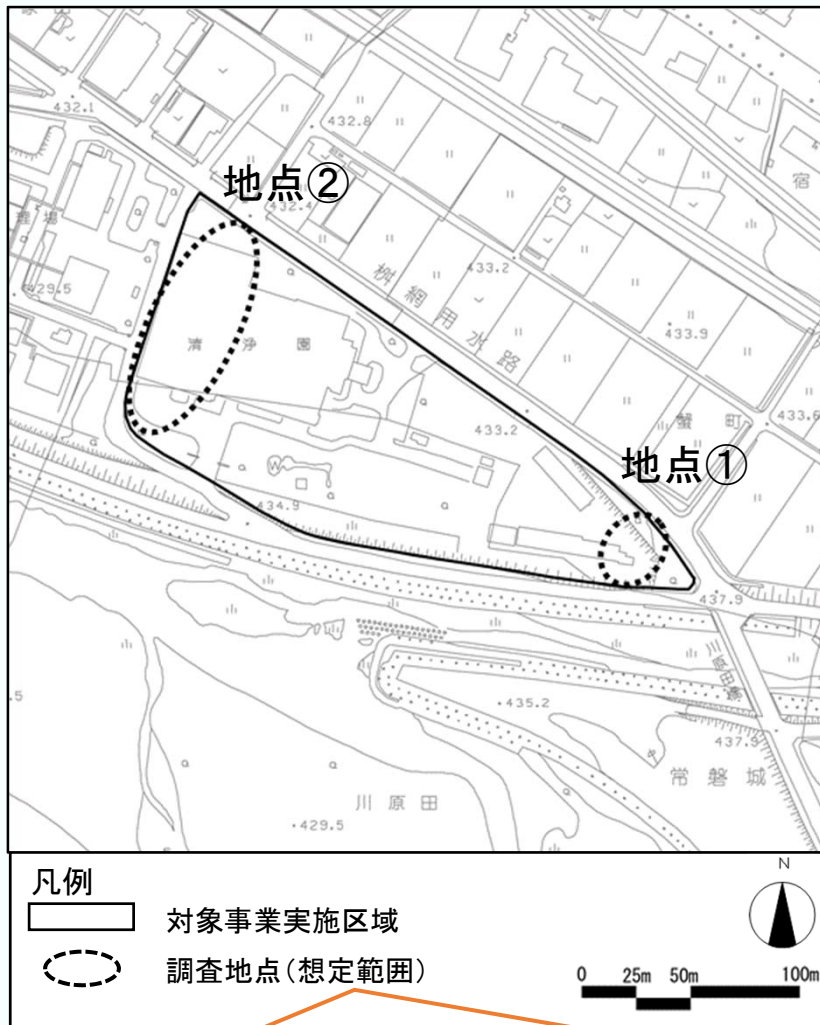
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-45  
~ 3-47  
p.3-51  
~ 3-52

## 調査地点



## 調査内容

【地下水位:2地点】(地点①、地点②)

12回(1回/月):地下水位



地下水位調査 ▲

工事に支障がない範囲かつ対象事業実施区域の両端に地点を設定

# 土壌汚染

事業計画  
の概要

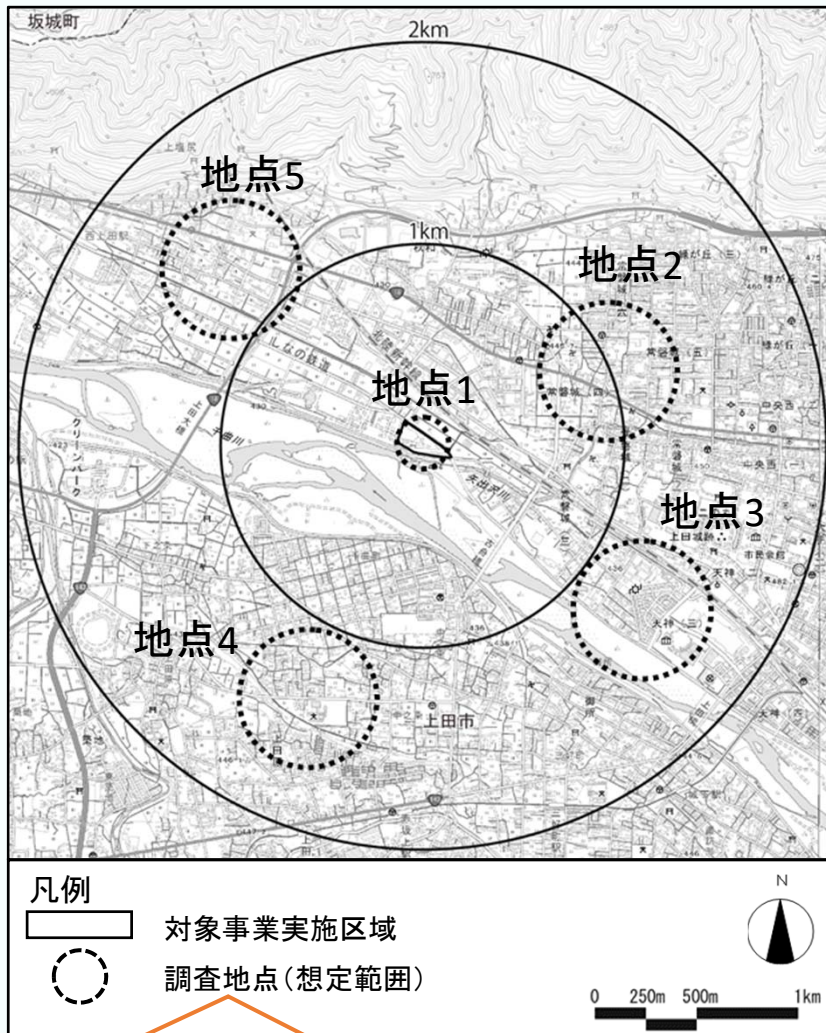
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-48  
~ 3-50

## 調査地点



一般環境大気質と同じ地点を設定

## 調査内容

【土壌環境:5地点】(地点1~地点5)

1回:有害物質(土壌の汚染に係る環境基準項目、ダイオキシン類)



土壌環境調査 ▲



# 地形・地質

事業計画  
の概要

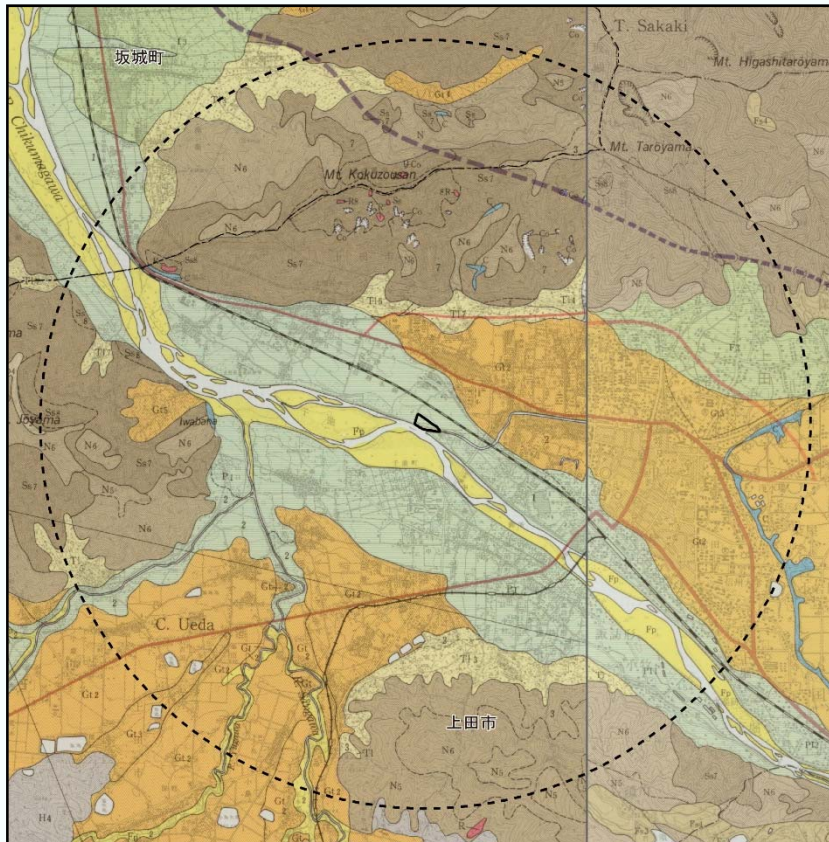
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

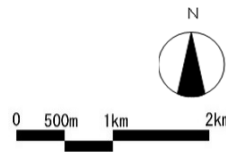
方法書  
p.3-53

## 調査地点



凡例

対象事業実施区域



## 調査内容

### 【ボーリング調査】

1回:ボーリング調査  
(対象事業実施区域内で数地点)

	項目名	坂 城	上 田
山地	山頂緩斜面(15°未満)	Sp4	Fs3 Fs4
	一般斜面(15°~30°)	N5 N6	N5 N6
	急斜面(30°以上)	Ss7 Ss8	Ss7 Ss8
丘陵	丘陵	H3 H4	
台地・段丘	砂礫台地	Gt2 Gt3	Gt2 Gt3
		Gt4 Gt5	
低地	扇状地	f3	f3
	谷底平野	P1 P2	
	谷底平野 I		PI1 PI2
その他	河原	Fp1 Fp2	Fp1 Fp2
	崩壊地形	Co	
	崖錐	T1	
	崖	C	C
	露岩地	R	

対象事業実施区域内で数地点設定

# 動物、植物、生態系

事業計画  
の概要

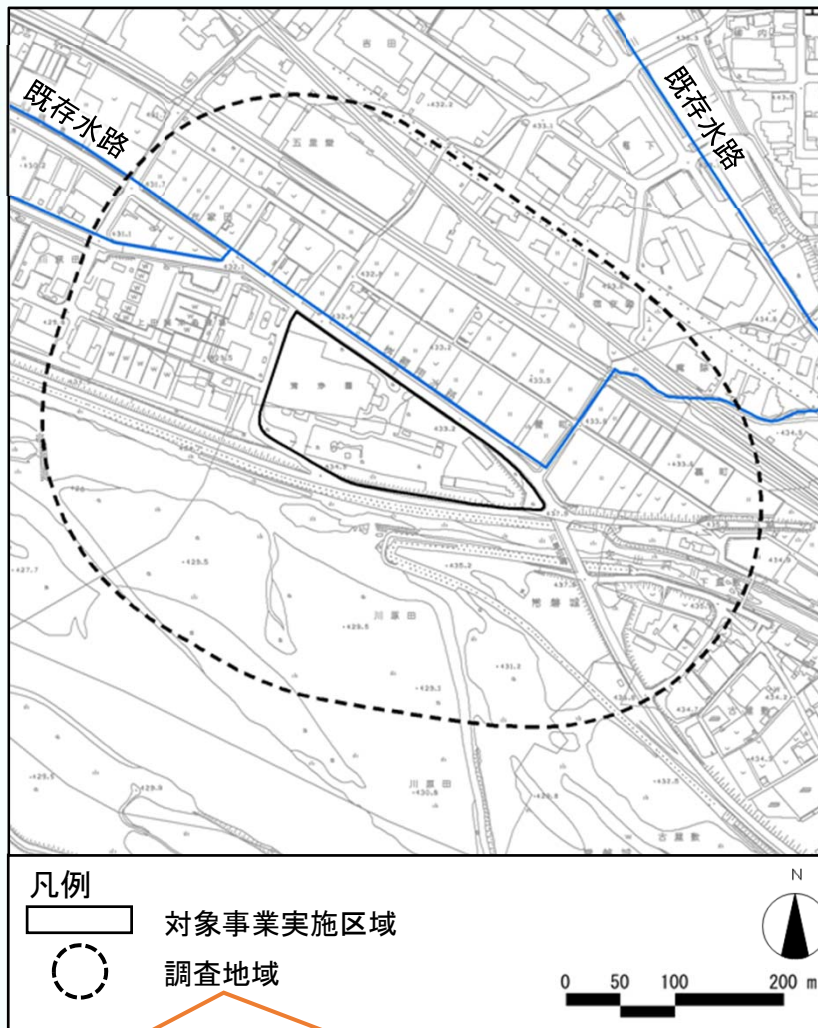
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-54  
~ 3-61

## 調査地点



対象事業実施区域周辺200mの範囲

## 調査内容

【周囲200mを基本とした千曲川を含む範囲】

各動植物の生態・繁殖期に合わせた時期

動物: 哺乳類、鳥類、爬虫類、両生類、昆虫類、  
陸産貝類、魚類、底生動物

植物: 植物相、植生



昆虫類調査



鳥類調査

# 景観

事業計画  
の概要

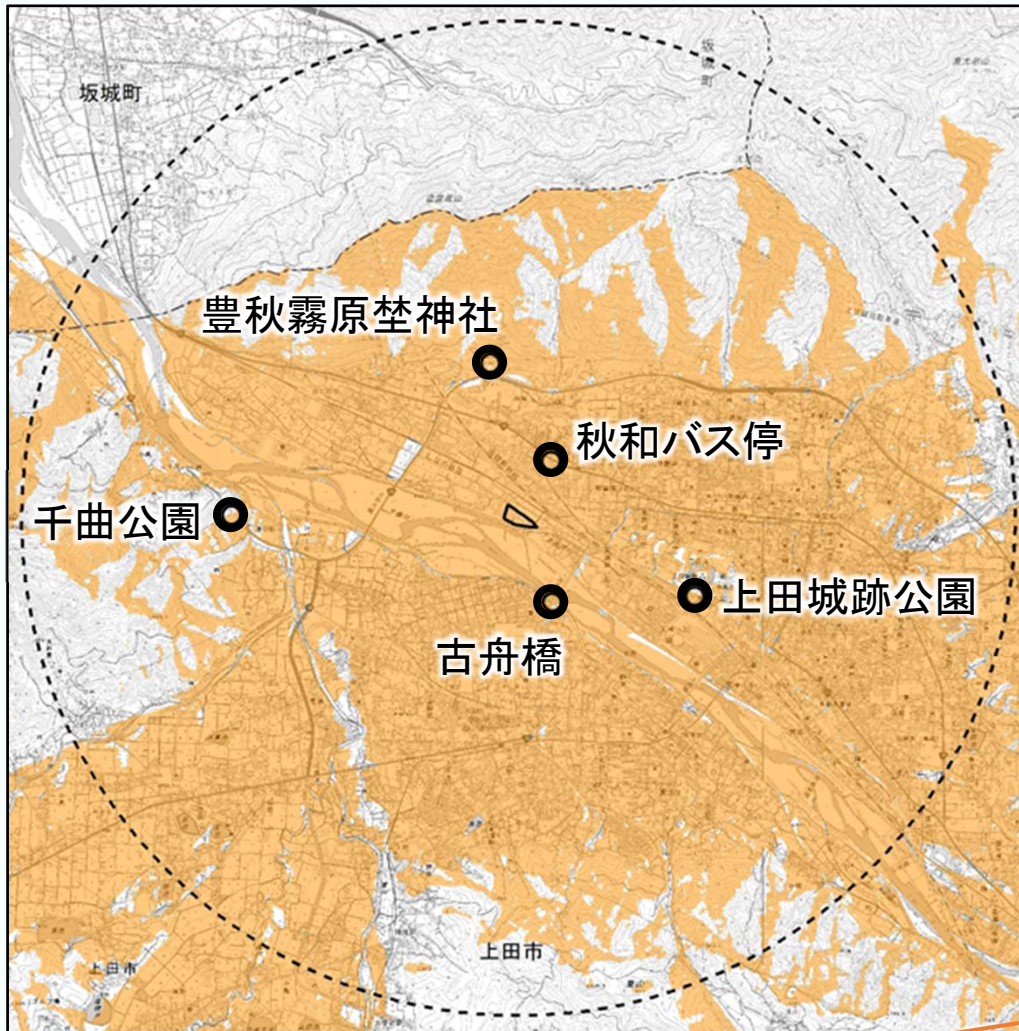
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-62  
~ 3-64

## 調査地点



## 調査内容

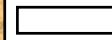
【景観:5地点】

4季:観光地や生活者視点からの景観



景観調査 ▲

凡例



対象事業実施区域

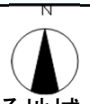


施設や煙突が見えると想定される地域



調査地点

0 500m 1km 2km



対象事業実施区域が見渡せる地点や観光地、身近な視点を考慮して設定

# 触れ合い活動の場

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

方法書  
p.3-65  
~ 3-67

## 調査地点



## 調査内容

【触れ合い活動の場:2地点】

4季 : 利用状況等



# 日照阻害、電波障害

事業計画  
の概要

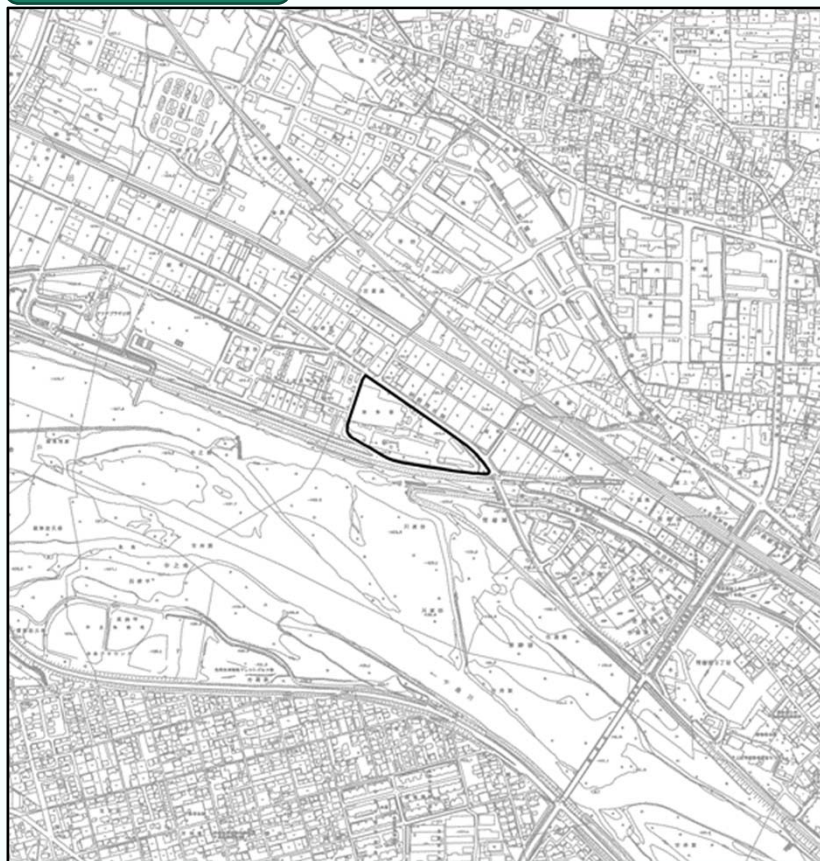
環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法


手続き  
状況

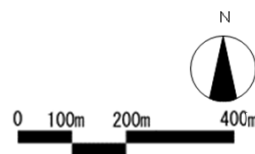
方法書  
p.3-70  
~ 3-71

## 調査地点



凡例

 対象事業実施区域



対象事業実施区域の周辺を調査

## 調査内容

### 【日照阻害】

1回(冬至日頃):土地利用及び地形の状況

### 【電波障害:10地点程度】

1回:電波の状況等



電波障害調査▲

## 予測の基本的な手法



- A) 計算やシミュレーションなどによる方法  
(大気や騒音など)
- B) イメージ写真などによる視覚的な方法  
(景観)
- C) 調査結果・事業計画・類似事例などに  
基づいた方法 (水質や動植物など)

## 評価手法

### 基準・目標との 達成評価

環境基準・規制基準などの環境保全のための目標や規制値が達成できるのか。または、現状の環境を悪化させてないか。

### 回避・低減

対象事業による影響が、できる限り回避又は低減されているか。

## 4 手続き状況



# 手続き状況について

事業計画  
の概要

環境影響  
評価項目  
の選定

調査・予  
測及び評  
価の手法

手続き  
状況

## 方法書の縦覧

縦覧期間：令和4年5月16日（月）から6月15日（水）まで

## 説明会の開催状況

全3回について実施完了

開催日	5月23日（月）	5月25日（水）	5月30日（月）
開催場所	上田市 サントミュージゼ	上田市 サントミュージゼ	坂城町 文化センター
参加人数	61名	20名	7名
質問の概要	<p><b>事業計画の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画処理能力の根拠</li> <li>・浸水対策</li> <li>・建設候補地の立地</li> <li>・規制基準 等</li> </ul> <p><b>環境影響評価</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大気質調査地点の追加要望 等</li> </ul>		

その他、対象事業実施区域周辺の地元自治会等を対象に4回実施。

（5月11日（水）、13日（金）、19日（木）、21日（土））

**ご清聴ありがとうございました**